

# — 心臓MRI検査 —

## 受診される患者さまへ

心臓のMRI検査を安心してお受けいただくための説明書です。  
受診される患者さまは、検査前に一度お読みください。

### 心臓MRI検査

- 心臓MRI検査は、磁気之力と電波を利用して、心臓の動きや血管の状態を画像化し、あらゆる方向から診ることができる検査です。
- 検査時間は、およそ1時間と少し長いですが、X線などの放射線を使用しませんので、被ばくの心配なく検査をお受けになることができます。



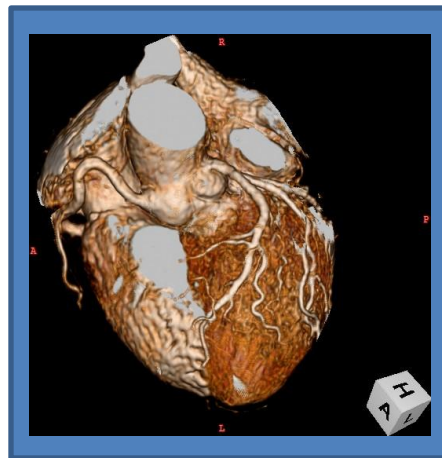
### 検査前の注意点

- 心臓MRI検査では、とても強い磁気を使用しますので、手術などで金属製の医療器具を装着されている場合は、検査前にお申し出ください。  
心臓ペースメーカー、冠動脈ステント、脳動脈クリップ、人工関節など
- 吸引される金属類を身に付けている場合は、検査前に外してください。  
時計、指輪、ネックレス、イヤリング、ヘアピン、眼鏡、入れ歯、補聴器など
- 検査の際は、円筒型のMRI装置の中に入りますので、狭いところが苦手な患者さまは事前にお申し出ください。
- 妊娠中や妊娠の可能性のある患者さまは事前にお申し出ください。
- 化粧品(マスカラなど)やコンタクトレンズの中にも、金属類を含むものがありますので、検査前に化粧を落としたり、コンタクトレンズを外してください。
- 湿布など体に貼りものをしている場合も外してください。
- 入れ墨(イレズミ)のある患者さまも事前にお申し出ください。

# — 心臓MRI検査 — 受診される患者さまへ

## 造影剤や負荷薬剤

- 心臓MRI検査では、病気を見つけるために、造影剤という薬剤を注射して検査を行う場合があります。以前に造影剤を使用して、気分が悪くなった経験のある患者さまは事前にお申し出ください。
- 心臓に負荷を与えることで、より細かく心臓の状態を診ることができますので、負荷薬剤を注射して行う場合もあります。
- 心臓の血管(冠動脈)を観察するために、β遮断薬や血管拡張剤を使用する場合があります。



## 検査中の注意点

- 心臓MRI検査は、約1時間と検査時間が少し長いです。そのためリラックスして検査が受けれる体勢となるように、検査台の上で仰向けに寝ます。
- 心臓は常に動いている臓器ですので、必ず心電図電極を貼り、心電図波形を確認しながら検査を進めていきます。
- 体からの信号を受け取るために“コイル”というものを体の上に載せます。
- 心臓の検査をしているときには大きな音が鳴りますので、ヘッドホンを装着します。また、検査を行う担当者から「息を吸って止めてください。」というお声をお掛けします。指示に合わせて止めてください。この息止めにより病気の見え方が変わる場合もあります。ご協力をお願いいたします。
- 検査中は痛みを伴いませんが、もしも何か違和感があったり、辛くなった場合は、お手元のナースコールでお知らせください。

最後になりますが、心臓MRI検査は患者さまのご協力が、とても大切な検査となります。ご協力のほどよろしくお願い致します。

心臓画像クリニック飯田橋  
院長 寺島正浩